

中医協「第 169 回総会」 2010 年度診療報酬改定案を答申

2010/2/12

中医協・総会（会長：遠藤久夫・学習院大学経済学部教授）は 2 月 12 日、2010 年度診療報酬改定案を長妻昭厚生労働大臣に答申した。

多数の傍聴者が見守る中、午前 10 時から開始された総会では、点数表の答申書と附帯意見に関する確認を委員が行った後、遠藤会長が足立信也政務官に答申書を手渡した。

足立政務官は今回の改定議論について、中医協委員自らが資料を提出して議論を行ったり、現場の医師代表の意見を聞く機会を設けたりしたことを評価。その後、国会から駆けつけた長妻大臣は、「ネットプラスは 10 年ぶりのことで、その意味では中医協で歴史的な作業をしていただいた」と述べた。また、遠藤会長は「改定内容の検証と今後の課題を来年度から早急にやっつけていかねばならない」とした一方で、「今回はエビデンスに基づく改定を行ったため事務局の作業量がおそらくこれまでの 1.5 倍にはなったと思う、感謝したい」と労をねぎらった。



再診料に新設の地域医療貢献加算は 3 点

10 日の総会で新たに示された診療所再診料に加算する「地域医療貢献加算」は 3 点となった。同加算は、標榜時間外の休日・夜間の患者からの問い合わせや受診等に対応可能な体制を確保している場合の加算となる。また、今改定で焦点の一つとなった医療費の明細書発行については、無料発行する診療所に対して「明細書発行体制等加算」が再診料に 1 点加算される形となった。

点数告示は 3 月上旬の見込み、次回の中医協・総会は 3 月開催の予定。

主要改定項目は <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/02/dl/s0212-4a.pdf>

新旧点数比較表は <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/02/dl/s0212-4c.pdf>